

小説坊ちゃんモデルのふるさととは越後高田？

小牧市 清水誠一（清里区上田島出身）



きよに何かみやげに買って来てやろう
何が欲しい、と聞いてみたら「越後の笹
船が食べたいと言った」これはどなたも
一度は読んだことのある夏目漱石の小説
坊ちゃんの中の一文です。舞台は四国松
山ですが、きよは高田と関係があったの
かと思われる方もいるでしょう。

では、坊ちゃんのモデルが高田と関係
があるので、大胆に考慮した人がお
ります。

文献をひもとき関係する資料を集め、
係わりのある人を探して面談し、より確
実性のある内容にまとめ上げました。

その人は私の高校時代の恩師でもある
勝山一義先生です。先生は清里区上深沢
のご出身です。私は板倉区にある有垣高
校を三十五年卒業し先生も二十九年に
卒業された大先輩にあたります。当時有
垣はまだ私立で創立者の増村朴齋先生の

校訓を強く受け継いだ個性豊かな高校で
した。先生は早稲田を出られ新進気鋭の
社会科教師として三十三年に赴任されま
した。教え方のうまさ、知識の豊富さで、
私は歴史が一層好きになりました。有
垣を離れられた後、県内各高校で教えら
れ、最後は新潟商業高校の校長を勤めら
れ定年退職されました。更にこのままで
終わらず、高田にある私立関根学園高校
の校長に就任され平成十八年まで勤めら
れました。

本題ですが、今年六月の有垣の同窓会
での先生の講演、先生著の「小説坊ちゃ
んのモデル関根萬司」の中からまとめて
みました。関根学園の創立者である関根
萬司氏の経歴を調べていく中で、夏目漱
石と大学が同じで、同席していたことが
分かりました。又関根氏は東京物理学校
で数学を勉強していました。各地の中学

校の教師をし、宮城県角田の中学校へ赴
任。その学校でおきた学校騒動に（文中
では松山の中学で学校騒動あり）遭遇し
たのです。その後高田へ戻って関根学園
の創立に携ったとことです。又小説坊
ちゃんの中で唯一の親友であった英語教
師うらなりのモデルも新潟市出身で先生
が校長を勤められた新潟商業高校の卒業
生でもある堀川三四郎氏ではないかと調
べられたのです。そして関根氏と同じ宮
城県角田の中学へ赴任していたことが分
かりました。又堀川氏は夏目漱石が東大
の教師をしていた時教えを受け、交流が
あったのではとのことでした。関根氏、堀
川氏の親族、関係する人達を探し求めて
各地に足を運び面談をされました。それ
は単なる推測に終わらず事実としてより
確実性のあるものにする先生の意欲が伺
われます。夏目漱石が有名な小説坊ちゃ
んを書くにあたり、実在した関根学園の
創立者関根萬司氏とその友人である堀川
三四郎氏等とのつながりを参考にしなが
ら書き上げたのではという先生の推察は、
事実に近いのではと私も思います。

先生は上越市大貫に居を構え坊ちゃん
の研究を続けておられ、更なる詳細な解
明が期待されます。

以上のことがふるさとを離れている会
員の皆様にもふるさと上越を思い起こすよ
すがとなれば幸いです。

参考 勝山一義著「小説坊ちゃんのも
デル関根萬司」発行所ホコ自習館



左から2番目が勝山先生